



令和2年 8月の行事予定

- 4日 (火) 支援員会議(夢・究塾明日葉)
- 6日 (木) 法人指導監査
- 7日 (金) café 会議 (One memory)
- 11日 (火) 製造販売会議・支援員会議  
(とうふ屋丸木橋六兵衛)
- 12日 (水) 支援員会議(杉の木園・One memory)
- 18日 (火) 職員会議(夢・究塾明日葉)
- 19日 (水) 令和2年度サービス管理責任者研修 (更新研修)  
【伊藤(雅)】
- 20日 (木) 令和2年度サービス管理責任者研修 (更新研修)  
【菊地】
- 26日 (水) 職員会議(杉の木園・One memory)
- 28日 (金) 職員会議 (とうふ屋丸木橋六兵衛)



事業所紹介

～ 杉の木園 ～  
『 空き缶作業 』

6月より自粛していた作業を再開し、スカイグループの本来の活動に戻ることができました。暑い日が続きそうですが、冷風機のおかげで作業もスムーズにできています。今は月一度の納品を目標に、協力して頑張っています。空き缶の回収も再開していますので、みなさんのご協力よろしくお願いします。たくさん空き缶を潰してコロナに負けない体力をつけたいと思います！



～ とうふ屋丸木橋六兵衛～  
『 とうふギフト 』

今年もお中元のシーズンがやってきました。利用者の皆さんもたくさんの注文をうけて張り切っておとうふ作りしております。

今年のギフトの中身は自社製品が期間限定のおとうふを含む4点、取り寄せ品は県内産のソーセージを含む5点で合計9点の詰め合わせ。夏に食べたい!!夏にぴったりなギフトセットになっております。まだまだご注文・ご発送、承りますのでよろしくお願い致します。



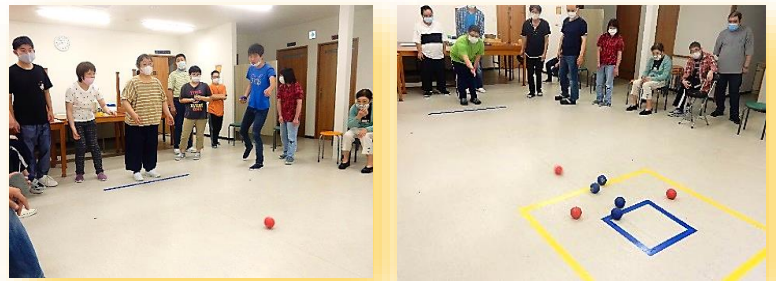
とうふ屋丸木橋六兵衛の藤澤めぐみです。  
ご注文お待ちしております!!

～ 夢・究塾明日葉 ～  
『 ボッチャ“風” 』

自治会で購入したボッチャを皆でやってみよう!と、いうことで実施しました。

今回はルールを知っている人が少ない事もあり、明日葉オリジナルルールでボッチャ“風”として行ないました。4チームに分かれてのトーナメント戦、意外と難しいボール操作、投球順などを相談し合いながら協力して試合に臨みました。

『楽しかった』の声がたくさんあったので、次回は正式ルールで実施したいと思います。目指せパラリンピック!!



～ One memory ～  
『 カラフルペイント鉢 』

メモリーグループでは素焼きの鉢にペイントを施し、ボン・カフェ内で販売しております。

4月は一羊会の皆様にもたくさんお買い上げ頂きました。ありがとうございます！

完成した鉢を見て「好き」「ペンキ楽しい」「買ってくれるかなあ」

グループみんなの思いがこもったペイント鉢は、この夏Newカラーが登場。可愛いミニサイズも。是非お食事の際にご覧になって下さい!!





## グループホーム

グループホーム『竹飛歩』の「暮らし」をご紹介します。



「ただいま」  
仕事で疲れても  
手指消毒は  
忘れません

「いただきます」  
みんなで囲む食事は  
格別です



「ピカピカに」  
洗い物は自分たち  
でしています



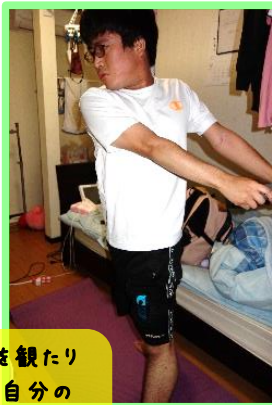
洗い残しは  
無  
いかな？



「極楽～極楽～」  
お風呂で疲れを癒した  
あとで洗濯します



夜はテレビを観たり  
運動したり自分の  
時間を過ごします



## 一羊会利用者自治会

7月20日(月)杉の木園のホールで、自治会会員の新規勧誘(グループホーム入居者)と自治会会則についての臨時自治会全体会を行いました。副会長の石川由季さんの司会でスムーズに進行、会員の皆さんは真剣な表情で耳を傾けていました。

石川由季さん「皆さんが静かに話を聞いてくれて良かったです。これからも役員として頑張りますのでよろしくをお願いします」



## 保護者会

「脚下照顧(一旦立ち止まり自らの行いを顧みる事)」  
米野 脩(宏さん父)

宏が社会へ出るとき事業所の二者選択の岐路に立ちました。一方は施設、設備は大きく充実しているが、職員が事務的な事業所、他方は施設、設備は「無」に等しいが、僅か二人の職員が火の玉のように闘志に燃えている事業所でした。家内は「人を育てるのは人であり施設や設備の大小ではありません」と言い、私の先行き不安を意に介せず臆する事も無く後者を選択しました。それが今の丸木橋作業所であり、筆頭職員は若き日の澤田統括でありました。

当時青森県に単身赴任中の私は、一週間の勤務を終えた週末の夜遅くに秋田の自宅に戻り、翌土曜日は丸木橋作業所の屋根のペンキ塗りや用地拡大の立ち木伐採作業等をやり、翌朝には又青森に戻る日々でしたが、作業で流す汗の一滴はやがて大河になろうと信じ何ら苦に感ずる所は有りませんでした。

当時園生の主たる作業は稲庭のうどん詰めでしたが、繁忙期は統括の家族は元より園生の家族挙げての支援続きでした。しかし「苦あれば楽あり」折れたクズウドンを活用した昼のツルツルうどんの美味さと、玄関前に生い茂る草木の勢いに、今は小さくともやがては大きく育つであろう作業所の明るい未来を予感し、また笑顔で午後の作業に着手したものです。

現在事業所は、計四ヶ所・職員数も四十余名と充実し、県内外に名声を博するに至って居りますがここで脚下照顧、「人を育てるのは人であり施設や設備ではない」と言う指導の原点に立ち返ってみる事は無意味ではなかろうと思えます。「組織や社会は何をしてしてくれるのか」ではなく、ハンディを持ちながらも「組織や社会に何が出来るか」を考え、出来る事から実践し、それを実績として積み重ねてゆく汗は、やがて大河になろうと信じたいものです。

不幸にも「今回の伝染病の教訓は何か」と問われれば「自分の事は自分でやると言う独立自尊の精神です」と私達親子は迷わず答えることでしょう。

楽しみにしていた納涼祭が中止となりましたが、来る年は時間を倍に伸ばし、近所に住む熊さん・鹿さん・ムジナさんにも声を掛けて踊りの輪に入ってもらい、月が天頂に昇る夜半まで愉快地に楽しく過ごしたいものだと子供以上に思う昨今です。

## 苦情・要望(ボイス)

今月は4事業所とも苦情・要望はありませんでした。

## 編集後記

新型コロナウイルス、豪雨災害と暗いニュースが続くなか、サッカーJ3ではブラウブリッツが開幕5連勝と秋田県民に明るいニュースをもたらしてくれています。3年前の勢いを再びJ2へ駆け上がれ！

